



南三陸町の中心地志津川の様子



行方不明者を捜索する海上自衛隊 (南三陸町)

気仙沼市・南三陸町

風光明媚な海沿いの町が壊滅的被害

風光明媚な海岸線が続く三陸の海、鮮やかコバルトブルーの海の色とは裏腹に、海沿いの町は壊滅的な打撃を受けていた。4月29日、職員のご家族も亡くなられている気仙沼市、南三陸町取材した。

津山町から海岸にでると大きな水門は破壊されていた。気仙沼線は線路や橋梁が流失。本吉町付近は道路が寸断され山の細い道路が迂回路になっていた。南三陸町の中心部志津川町は、海岸から山沿いまで殆どの建物は土台しか残っていない。気仙沼市の中心部はまだ水が引かず立ち入り禁止になっており、流された大型船が建物を破壊、大きな町だけに被害も広範囲に渡っていた。桜の花が満開だったが、こんな桜の景色は初めてだ。リアス式海岸の地形が被害を大きくしたと言われている。

被災地にはボランティアの車が列を成して入ってきていた。被災されなかった個人の医療機関は診療を開始していた。

(取材 神馬 悟)

<気仙沼市>死者 882 人、行方不明者 1059 人、建物全半壊 10244 棟。<南三陸町>死者 500 人、行方不明者 657 人。

県連にランドセル届く

被災した子どもさんで使って



4月30日、宮城民医連事務局に、新品のランドセル14個とデスクマット約65万円相当が届きました。

これらは、古川ももの木保育園(園長古内文子)と繋がりのあった家具の「わらび」さんが、地震の影響でお店を閉じることになり、「被災された子どもさんたちに役立ててください」と同保育園を通して県連に届けられたものです。

ランドセルは、松島医療生協を通して、石巻の被災した子どもさんに届けられることになりました。



まだ水が引かない気仙沼市中心部



大型船が工場敷地内に打ち上げられていた(気仙沼市)